

きずな通信 No.39

あけましておめでとうございます



2021年 1月1日
発行 みやぎ地域づくり交流会
事務局 宮城公民館内

地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

福祉交流部会

▼自然災害から身を 守る防災研修

9月16日(水)宮城公民館にて、地区社会福祉協議会と共催して「自然災害から身を守る」宮城地区の自然災害と避難と題し防災研修会を開催しました。土砂災害や地震など近年の被災状況や避難準備、自主防災会をはじめとした心構えや行動など具体的な説明をいただきました。

講師は、実際に災害救助にも多く携われた前橋市防災アドバイザーさんをお願いいたしました。

参加者は、コロナ禍のため、自治会役員、民生委員、地域づくり委員43名の方々に出席をいただきました。災害はどんな状況下でも待つてくれません。普段から備えをしましょう。



北爪会長のあいさつ



講義に聞き入る皆さん

▼エコキャップ 仕分け作業

途上国の医療支援や障害者雇用促進に充ててもらおうと活動を続けています。

今年は、コロナ禍のため春の作業は取り止め、12月年一回の作業となりました。予想を超える合計355kgのペットボトルキャップを回収することができました。引き続き収集のご協力をお願いします。回収場所は、公民館及び社協宮城支所です。



作業後の福祉部会員

令和二年

三夜沢あずき復活プロジェクト

令和二年度の三夜沢あずき復活プロジェクトは、コロナ禍の中で始まりました。春・夏・秋の大型イベントの中止が決まり、三夜沢あずきを育てても、利用する機会がなくなってしまうと思い、担当としてのモチベーションも下がり、今年是一年休もうかなと考えていました。

ところが、「活用方法は別に考えると、三密対策が可能なあずき栽培は続けられるのでは」と会員たちから声があがり、交流会会員と地域おこし協力隊員の方々に、播種から除草、収穫までの作業に協力していただき活動を再開しています。



Aコープみやぎ店さん 朝市

除草作業

Aコープみやぎ店さんの朝市が、12月6日(日)の午前中に開催されました。その朝市に北爪直売所さん(鼻毛石町974-1)にコラボレーションをしていただき、三夜沢あずきを使用した「あんぴんもち」を用意していただきました。

餅はもちろんやわらかく、三夜沢あずきとの相性はバッチリでした。味付けも甘すぎず、伝統あずきの美味しさを引き出してもらい好評をいただきました。

北爪直売所さん、店舗の軒先を提供してくれたAコープみやぎ店さん、本当にありがとうございました。(前原清 記)



つながろう！みやぎプロジェクト開始

みやぎ地域づくり交流会では、コロナ禍でイベントが中止される中、希薄になりがちな地域のつながりのお手伝いとしてグッズ販売を期間限定で実施しています。グッズを普段使っている住民の方々の絆を意識してもらおうを試みます。

4作目となる7人のキャラクターが互いに手をつなぎ一つの輪となったイラストをTシャツとエコバックにプリントしました。

手ぬぐいには、地元出身の日本画家、須藤和之さんにもデザインで協力していただきました。

須藤さんは、昨年度の上毛芸術文化賞を受賞した注目の若手日本画家であり、昨年度のいいもん祭りでは、子どもたちにボランティアとして日本画教室の講師をしていただいております。

須藤さんが描き下した『みやぎのタンポポ』の手ぬぐいに同封された、『みやぎのメッセージ』にも注目をしてください。

販売は地区内取扱店を募集し、3店舗にご協力をお願いしました。メンバーともども『グッズを持ち歩き、地域の魅力を再発見して気持ちをつなげて欲しい』と願っています。

(大崎博之記)

『みやぎのタンポポ』

タンポポのわたげは赤城山から吹く暖かい風に乗って空高く舞い上がります。この地に、また元気な若い芽が生えるようにと願いを込めて。私達は幾千年も繰り返すこの自然の営みと共に、今を生きています。私達にもまた同様に先祖や親から受け継いだことと共に今この時のことを子に話していくでしょう。今日も吹く赤城山の風に守られて過去とつながり今、手をつなぎ、未来につなげる。

須藤和之



作：泉原山スゴ 画：博之 大崎



つながろう！みやぎプロジェクトチーム

各種団体紹介

食生活改善推進員会

代表者 小柴和子
構成員 11名

昭和59年に村の時代に発足し「私たちの健康は私たちの手で」を目標に活動し健康大学において栄養・運動・休養の三本柱を基本に学び、推進員となりました。

主な活動として

- 夏休み「親子食育教室」
- 9月「ハッピー健康クッキング」
- 冬「男性料理教室」



昨年度の講座風景

また、中学校で「お切込み」を二年生の生徒と一緒に調理も行っています。地域づくり交流会ではのびゆくこどものつどいやいいもん祭り等でもいいもんキーキなどの作成協力を行っています。

会員の皆さんは『今、コロナ禍で大変な時で、調理実習ができない状態にあります。館報等でいろいろな料理のレシピを載せていただいております。温かくバランス良い食事でも心も身体も元気で過ごせるよう、地域の皆さんのお役に立てる活動をしてまいります。』と今後の抱負を述べていました。

(上野 記)